

国内外で新型コロナウイルスの感染が拡大しています。学校の臨時休業、催しの中止や各種施設の休館など、市民生活にも多大な影響が出ていることを大変心苦しく感じています。市としても、拡散防止や市民の不安解消のため、全力で対応してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本市では、今後のまちづくりの指針となる「第6次荒尾市総合計画」を本年3月に策定し、将来像を「人がつながり幸せをつくる快適未来都市」と定めました。今後、「愛着と誇りを持って住み続けたい」「子育てをしたくなる」荒尾市づくりを積極的に進めてまいります。

では、重点戦略「あらお未来プロジェクト」の5つの柱に沿って、令和2年度の主な取り組みを紹介いたします。

荒尾市長 浅田敏彦



5 あらお未来プロジェクトの柱

Five project of Arao city for our future

1. 「切れ目のない充実した子育て環境をつくる」

- 中学3年生までの医療費を完全無償化
- 「子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点」開設
- 小中学校にタブレットを導入し、ICT教育を推進
- 学校給食センターの基本設計等を策定

2. 「誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる」

- 新市民病院は、施工業者を選定し令和3年春着工予定
- 潮湯の敷地内に憩いの場を設置
- 保健・福祉・子育て施設の基本構想策定
- 熊本県民体育祭を荒玉地域で共同開催

3. 「雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる」

- 道の駅の基本計画を策定（2カ年）
- 大牟田市と荒尾市で地元企業と学校の就職情報交換会を実施
- 地元高校等の地元企業視察ツアーを開催
- 市内に就職する若者の奨学金返済を補助

4. 「あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる」

- 転入者や子育て世代の住宅取得や改修にかかる費用を補助
- 荒尾干潟水鳥・湿地センター1周年イベントを開催
- 年間を通じて市観光周遊キャンペーンを実施
- 荒尾出身者等にふるさと情報誌等を送付

5. 「先進的で持続可能なまちをつくる」

- 南新地土地区画整理事業で道路や水路工事を推進
- 南新地地区で先進技術を活用するスマートシティの準備を推進
- 防災情報伝達システムを整備、ハザードマップを作成
- 相乗りタクシーの事業化を推進

3月16日、土地区画整理事業が進む南新地地区にて。背後には旧荒尾競馬場のスタンドも。

子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を開設しました

これまでも保健センターでは、健診やパパ・ママ向けの教室などに加えて、子育てに関する皆さんのさまざまな相談と一緒に考えてきました。そんな保健センター内に、さらに身近に、気軽に相談ができる体制を整えました。

●開所時間 平日 午前8時30分～午後5時15分



一緒に子育ての悩みを
解消していきましょう！

子育て世代包括支援センター

妊娠、出産、子育てに関するさまざまな悩みや相談と一緒に考えます。「ちょっとしたこと」でも相談してください。

CHECK

相談体制が手厚くなりました

保健師に加えて、新たに助産師、心理士、管理栄養士も常駐。妊娠中から子育てまで安心して過ごせるように専門のスタッフが切れ目なくサポートします。

☎子育て世代包括支援センター
(すこやか未来課母子保健係)
☎ 63-1153



子ども家庭総合支援拠点

子どもとその家庭の不安や悩みを一緒に考え、関係機関と連携し、必要な情報提供や支援を継続的に行います。

CHECK

プライバシーは守られます

個室の相談室もあるので、どんな内容も安心して相談できます。

☎子ども家庭総合支援拠点
(すこやか未来課こども相談係)
☎ 63-1143

PICK UP

子ども好きな人大募集！
母子保健推進員になりませんか？

☎すこやか未来課母子保健係
☎ 63-1153

子どもと関わるボランティアをしてみませんか。現在6人が活動中。保健センターで乳幼児健診などのお手伝いをしていただきます。

- 対象 市内に住む子どもが好きな人 ※資格不要
- 定員/任期 10人/2年間
- 申込方法 電話で申し込み（随時）。後日、説明会を行います。

Voice - 母子保健推進員さんの声 -

パパ・ママ向けの教室のお手伝い、健康福祉まつりでは、赤ちゃんの手形コーナーを担当しています。赤ちゃんに元気をもらえるし、孫育ての参考にもなります。

